

〔新年のご挨拶〕

新年を迎えるにあたって

国立国会図書館長

長尾 真



新しい年を迎えるにあたり、あらためて、東日本大震災、台風12号・15号による豪雨をはじめとする昨年中の災害の数々を、厳粛な思いで受けとめております。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。そして日夜、様々なかたちで、復旧・復興に取り組んでおられる関係者の皆様に心から敬意を表します。

当館でも、東日本大震災からの復興と今後の防災に資するために、当館としてできることを鋭意模索し、行っております。また、調査及び立法考査局においては、特別調査班をたちあげ、震災に関する国会議員の皆様からのご依頼に迅速にお答えするとともに、震災関連の各種レポートを刊行してまいりました。本年も、復興推進に向けた国会の活動を補佐するのに相応しいテーマをとりあげ、『レファレンス』、『調査と情報—ISSUE BRIEF—』、『外国の立法』等の刊行物を通じて提供していく所存です。

昭和26年以来刊行されている月刊誌『レファレンス』であります。今般は内容面に工夫を加え、年に数回、一つのテーマを多角的に扱う特集を組むようにしております。昨年は、9月号で東日本大震災の特集を組んだほか、10月には農業者直接所得補償制度、12月には英国の政治システムの特集号を刊行いたしました。本年も、国政審議に資するテーマを特集として取り上げたいと思っております。一方で、時々で生じる様々な国政課題に対しましても、当館が我が国の中央図書館として有する膨大かつ多様な資料・情報を基に、客観的かつわかりやすい調査レポートをとりまとめ、適時に提供していきたいと存じます。

国会議員の皆様には、国立国会図書館をますますご活用くださいますとともに、サービス改善のため忌憚のないご意見を賜ることができれば幸いです。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。